

令和5年度 幼児教育を考える協議会のご案内

研究主題

就園前から架け橋期を見据えた、教育課程のあり方について

本園では本年度より、研究主題「就園前から架け橋期を見据えた、教育課程のあり方について」を掲げて研究に取り組んでいます。

1年次となる今年度は、幼小のカリキュラム接続を目指し、幼児教育への理解を推進するために小学校教育につながる接点を抽出したり、遊びの中で幼児が経験していることを可視化したりすることを通して、小学校に発信したり、スタートカリキュラムを見据えた幼稚園の教育課程の再編を試みています。また、幼児を取り巻く社会情勢や幼児期の発達の連続性を考え、就園前の子育て支援のより良いあり方についても模索しています。まだまだ研究を始めたところではありますが、本研究協議会では、皆様と共に考え、話し合える会にしたいと考えております。

参加してくださる先生方と一緒に、明日の保育につながる研究会になることを願いながら準備しております。みなさんの参加をお待ちしております。

◆日時：令和5年12月9日（土） 9：00 開始～16：30 頃終了予定（受付開始は9：00～）

今年度は公開保育分科会での協議、および、本園教員と本学幼児教育科教員、また講師の木下光二先生を交えた鼎談も予定しています。詳細は2次案内にてお知らせします。

◆講師

きのした みつじ
木下 光二 先生 鳴門教育大学
高度学校教育実践専攻（教職系）教員養成特別コース 教授

◆協同研究者

共同研究者	平井 恭子 先生	（ 京都教育大学 教育学部 幼児教育科 教授 ）
	古賀 松香 先生	（ 京都教育大学 教育学部 幼児教育科 教授 ）
	田爪 宏二 先生	（ 京都教育大学 教育学部 教育学科 教授 ）
	東村 知子 先生	（ 京都教育大学 教育学部 幼児教育科 准教授 ）
	佐川 早季子 先生	（ 京都教育大学 教育学部 幼児教育科 准教授 ）